

法人理念	人を大切にし、人の心を豊かにし、元気の源を提供する				
支援方針	私たちは、子ども達の「こんなことをやってみたい!」という思いや挑戦、「やったらできた!」という喜びや達成感を大切にします。私たちは、子ども達が「楽しい」と感じながら活動に参加し、友達や仲間と様々な体験をする中で、将来の自立や社会生活に必要なスキルを身につけられるように支援します。私たちは、子ども達が自分で取り組み自分で乗り越えたと感じられ自信が育つように、「子どもが主役」の活動を目指します。				
営業時間	平日	13時	30分～	17時	30分
	学休日	10時	0分～	16時	0分
				送迎実施の有無	あり なし 条件があるのでお問い合わせください
支援内容					
本人支援	健康・生活	【健康状態の維持・改善】健康状態の把握。体温を伝えて健康状態を説明する。日々の「手洗い・うがい」の習慣化と、そのつと必要理由を説明する事で、衛生的な生活への意識を育てる。 【生活リズムや生活習慣の改善】決まった曜日にアプリへ来ることで1週間のリズムのある生活ができる。外から帰ったときの「うがい」と「手洗い」が自然に出来るようになる。「水分摂取」の習慣化。調理して自分で作ったものを食べる。昼食やおやつを皆と一緒に食べる中で、これまで食べていなかったものが食べられるようになる。 【基本的な生活スキルの獲得】日々の繰返しの中で、豆所時時所の挨拶、自分の持ち物の管理、買い物、調理、公共交通機関の乗り方、歩道の安全な歩き方のスキルが身につく			
	運動・感覚	格闘、体調管理、生理の支援、指導員から挨拶、持ち物の片付け、荷物を持ち帰り(忘れ物の注意喚起)、オモチャ等の片付け、手洗いうがい、昼食のマナー、食事摂取量の把握、水分摂取の把握、排泄の支援、調理と調理準備、昼食の購入、公共交通機関での外出、外出中のマナー、食物アレルギーへの対応 【姿勢と運動・動作の補助的技術の向上】ボール遊びや公園での鬼ごっこ、遊具を使った遊び、ダンス等、体全体を使う活動により、体の異なる部位を連動して動かす方や自らの協調の力を育てる 【保育する感覚の活用】保育する感覚を使いながら楽しく体を動かす事ができるように、遊びの場面作りや体を動かすイベントを計画したり、工作や調理の中で「掴む・切る・丸める・貼る・塗る」などの微細運動や、手や指の「協調運動」の力をつける 【感覚の特性への対応】感覚の過敏さ(聴覚・触覚・嗅覚など)に対して、一人一人の状況を把握し、環境を整備したり散歩に出掛ける等、一人一人に合わせた個別対応を行う。			
	認知・行動	ボール遊び、風船遊び、鬼ごっこ等の集団遊び、室内ゲーム、プランコや滑り台などの遊具遊び、ダンス、調理のメニュー決めへの参加、道具を使った調理、食べ易くするための工夫、箸などのカトラリーの使用、道具の安全な使用技術の定着、皆で同じ釜の飯を食べる連帯感、食べた事のないものに挑戦し食べられるものを増やす 【対象や環境への認知】①1か月の予定表や、一日の活動の流れを時計と内容のイラストでわかり易く掲示することで、今日の予定や時間の流れの理解を助け、見直しをもって、安心して活動に参加出来るようにする ②時計のイラスト、事前の予告と約束、タイマーを使用する事で、見直しと切り替えのタイミングの認知を助け、成功体験へつなぎ、「自己肯定感」を育てる 【適切な行動の習得】活動の初め時の全員での片付けタイム、おやつ箱の前に一列に並び、終わりの会に並んで参加する、送迎車に乗る時に名前を呼ばれるまで座って待つ等の「待つ・我慢する」体験から「社会性」が育つ ルールや役割のある遊びを仲間と楽しむ体験、活動中での「待つ」体験、工作などの細かい作業等を通して、「根気強さ」「アンダーコントロール」が身につく			
	言語コミュニケーション	おやつ(並ぶ・予算の管理、選択)、人生ゲーム、カードゲーム、ブラレール、組み組みスロープ、「貸して」&「良い」の練習、クラブ活動への参加、送迎車の中のマナー、送迎車に乗る時に自分の名前を呼ばれるまで座って待つ練習、お絵描き、紙工作(ハサミ・セロテープ、色鉛筆、マジック)、タイマーでの行動の切り替え、昼食やおやつ「いただきます」の挨拶、ミーティングでの司会、 【コミュニケーションの力を伸ばすための意図的な関わり】ことばやコミュニケーションの力を伸ばす為に、一人一人の特性や気持ちに寄り添いながら、先回りしないで待ちながら、会話を楽しむ。また話しかける時は、集中してたり感情が高まっているときは避け、ゆっくりとした穏やかなトーンで、短く明確な言葉で、肯定的(〇したら△できる)な表現で意図を理解しやすく、成功体験から会話やコミュニケーションへの自信を育てる 【ゲームや役割による言葉やコミュニケーションの練習や体験】ブラレールや組み組みスロープ、人生ゲーム、カードゲーム等で複数の仲間と遊んだり、「いただきます」やクラブ活動の司会など役割を担う体験を通して、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えるて折り合いをつける体験、苦手意識を乗り越えることが出来る活動を行い、途中で諦めないで最後までやり遂げられるように支援する事で、成功体験を積み上げながら自信を育てる			
	人間関係社会性	人生ゲーム、カードゲーム、ブラレール、組み組みスロープ、パイブレード、ママゴト、ハンカチ落とし等の室内ゲーム、 【遊びを通じた体験と、社会性の発達】役割やルールのある遊びを通して、役割の体験、順番やルールの体験ができる。自己主張の仕方、他の人の気持ちを考えて行動する態度、他の人との折合いのつけ方等、人との付き合い方を学び、コミュニケーションの力など、社会生活に必要な様々なスキルが向上し、友達と仲良く遊ぶ成功体験の中から「自己肯定感」が育つ 【外出活動や調理活動を通じた体験と、社会生活に必要なスキルの獲得】①調理への参加や昼食を自分で購入する体験から、商品を確認し探すが、商品を選択する、レジに並んでお金を支払うなど、自立に向けた「買い物の力」がつく。②車や公共交通機関や徒歩の外出を通して、車中のマナー・電車やバスの乗り方や車内のマナー、安全に歩くための交通ルールを学び、体験の幅を広げ、様々な人との関わりを通して「社会性」が育つ			
	家族支援	家族が参加できるイベントを計画し、イベント当日はご家族同士が直接話をしたり交流ができるよう工夫し、家族の繋がりを作る。また、日頃からご家族との情報交換を丁寧に行い、ご家族が困っている事や不安な事などを、気軽に安心して相談できる関係作りや面談の実施。送迎の実施	移行支援	将来のライフステージの変化を見据えた準備として、送迎車での送迎から1人乗りへの取り組み、地域の社会資源の活用や、児童館・地域行事への参加と交流など、地域との繋がりの取り組み。放課後児童クラブや他事業所等の併用や移行への支援。	
	地域支援・地域連携	学校や相談支援事業との連携、地域の公園での遊び、児童館での遊び、地域の図書館の利用、域の他事業所との合同イベント、地域のイベントやお祭りへの参加など、地域の社会資源を利用しながら、子ども達が地域の中で見守られる環境づくりを目指す	職員の質の向上	虐待防止研修、身体拘束適正化研修、感染症対策研修、防災訓練、各種スキルアップ研修(内部研修)、強化学習基礎研修への参加(外部研修)	
主な行事等	①初詣、餅つき、雛祭り、端午の節句、七夕、ハロウィン、クリスマス会等の、日本の文化や風習、季節感を感じられるイベントや飾りつけ。 ②日常的なイベント以外のイベント：季節感のある外出イベントや調理イベント、夏休みの「水遊び」、夏祭り(1週間開催)、ハロウィンパーティー(他事業所と合同開催)、スポーツ大会(他事業所と合同開催)、 ③ご家族も参加できるイベント：遠足(春のお花見や秋の博物館など)、夏祭り、ピンゴ大会、「あだっちゃんをさがせ!」、				